CoreStation Setup Manager
ユーザーガイド

バージョン 1.02

日本語
JA 102.00.CSM

suprema
SECURITY & BIOMETRICS

目次

はじめに 3

最小要件 3

デバイスを初期設定する 4

デバイス構成 7

スレーブデバイスの検索と登録 7

デバイス再起動 8

デバイス設定および情報の編集 8

モニタリング 15

入力ポートの状態 15

出力ポートの状態 16

Wiegandポートの状態 16

設定 17

管理者アカウントを編集する 17

Web サーバーネットワーク 18

付録 19

免責事項 19

著作権に関するお知らせ 19

はじめに

CoreStation Setup Manager は、CoreStation のネットワーク設定を管理したり、スレーブデバイス、入力/出力ポート、Wiegand ポートの接続状態を確認したりできる Web サーバーです。 CoreStation Setup Manager を使用すると、CoreStation を用いた入退室管理システムを構成する際に、BioStar X サーバーの場所へ移動せず、その場でネットワークおよび配線の状態を確認できます。

CoreStation Setup Manager では、次の機能を使用できます。

- IP アドレス設定
- CoreStation 情報の確認
- CoreStation の設定のバックアップと復元
- 管理者設定
- スレーブデバイスの接続状態確認
- 入力および出力、Wiegand ポートの状態モニタリング
- デバイスの初期化、ネットワーク設定以外の設定の初期化
- 工場出荷時初期化

最小要件

互換性のある装置とファームウェアバージョンを確認してください。

- CoreStation ファームウェアバージョン 1.3.1 以上
- CoreStation 20 ファームウェアバージョン 1.0.0 以上

情報

- CoreStation Setup Manager は、CoreStation ファームウェアバージョン 1.3.1 以上および CoreStation 20 ファームウェアバージョン 1.0.0 以上でサポートされます。 古いバージョンのファームウェアを使用している場合は、BioStar X に接続してファームウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
- 各デバイスの接続および設置方法の詳細は、該当製品のガイドを参照してください。
  - CoreStation
  - CoreStation 20
- CoreStation および CoreStation Setup Manager の詳細については、Suprema テクニカルサポートまでお問い合わせください。

デバイスを初期設定する

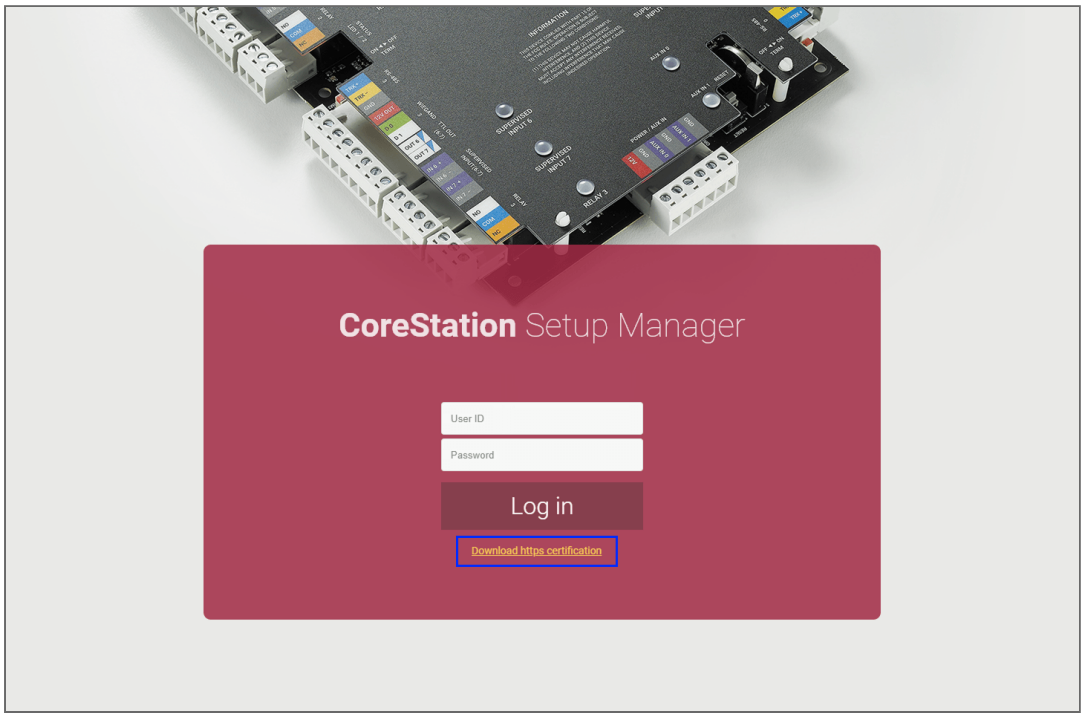
CoreStation Setup Manager は Web ベースのサービスを提供します。 そのため、CoreStation を用いて集中型アクセス制御システムを構築する際、配線が完了したら、どこからでも Web ブラウザで CoreStation Setup Manager にアクセスし、CoreStation の接続状態を確認できます。

CoreStation Setup Manager を初めて使用する場合は、CoreStation を接続して初期設定を進めてください。

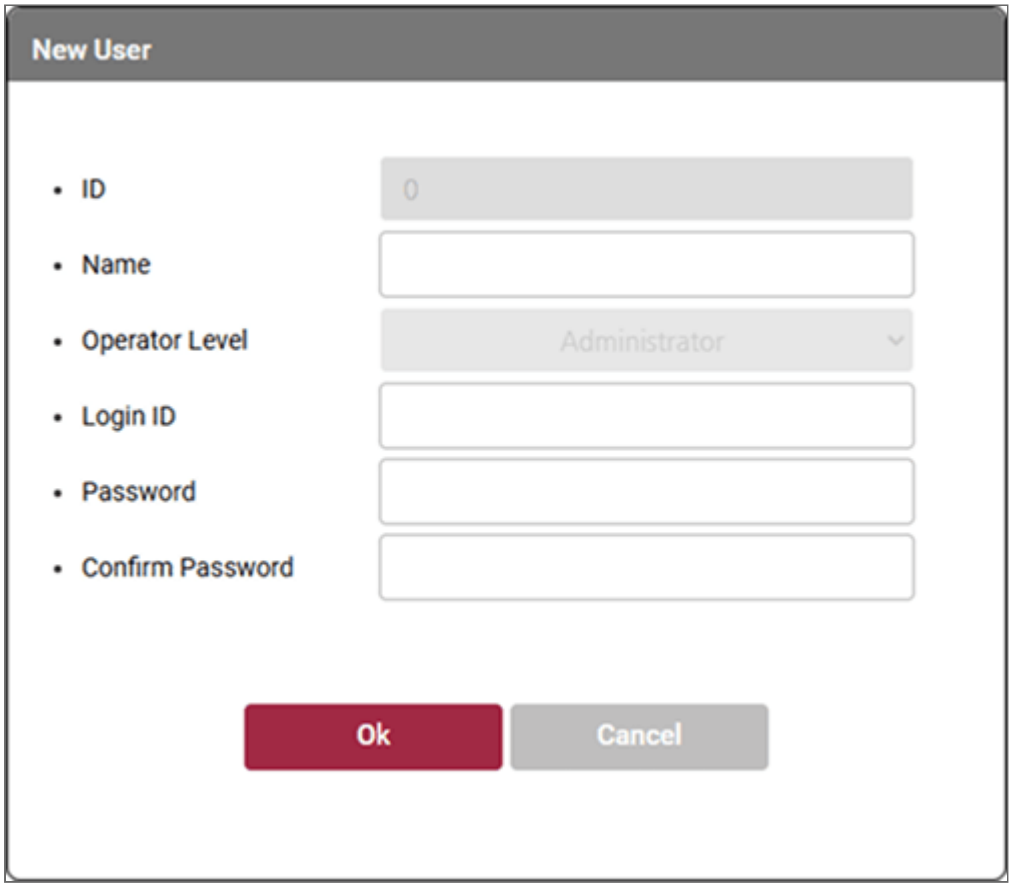
1. CoreStation にケーブルを接続します。
2. Web ブラウザを起動します。

> **情報**
> Chrome 75 以降の Web ブラウザを使用します。

3. Web ブラウザのアドレス入力欄に既定の IP アドレス `https://169.254.0.1:3001` を入力します。
4. ログイン画面で **Download https certification** をクリックします。 CoreStation Setup Manager に初めて接続する場合、HTTPS を正しく使用するために証明書をインストールする必要があります。



5. **cs_client.crt** ファイルを実行します。
6. **ファイルを開く - セキュリティの警告** ウィンドウが表示されたら **開く** をクリックします。
7. **証明書** ウィンドウで **証明書のインストール** をクリックします。 **証明書のインポート ウィザード** が起動します。
8. 続行するには **次へ** をクリックします。
9. 証明書ストアを選択し、**次へ** → **完了** → **OK** の順にクリックします。
10. ユーザー ID とログインパスワードを入力します。 初回接続時のユーザー ID とログインパスワードはいずれも "admin" です。
11. 管理者アカウントを登録するには、各項目を設定してから **OK** をクリックします。



名称	機能説明
ID	ID は自動的に **0** に設定され、変更できません。
Name	管理者名を入力します。 - 名前は最大 48 文字まで入力できます。
Operator Level	Operator Level は自動的に **Administrator** に設定され、変更できません。
Login ID	ログイン ID を入力します。 - ログイン ID は最大 32 文字まで入力できます。
Password	ログインパスワードを入力します。 - ログインパスワードは 7～32 文字の英数字と記号の組み合わせで入力します。
Confirm Password	確認のため、ログインパスワードを再入力します。

12. ログイン画面に切り替わります。 登録した管理者アカウントでログインします。

情報

- 管理者アカウントは CoreStation Setup Manager へ初回接続する際にのみ設定でき、1 名のユーザーしか指定できません。 登録が完了すると、初回接続時に使用した既定のユーザー ID とログインパスワードは使用できなくなります。 また、管理者アカウントは工場出荷時リセットを含むすべての設定を確認および編集できます。
- CoreStation Setup Manager バージョン 1.01 から **Level 1** 管理者ランクの名称が **Administrator** に変更され、**Level 2** ～ **Level 3** ランクの管理者アカウントはサポートされなくなりました。

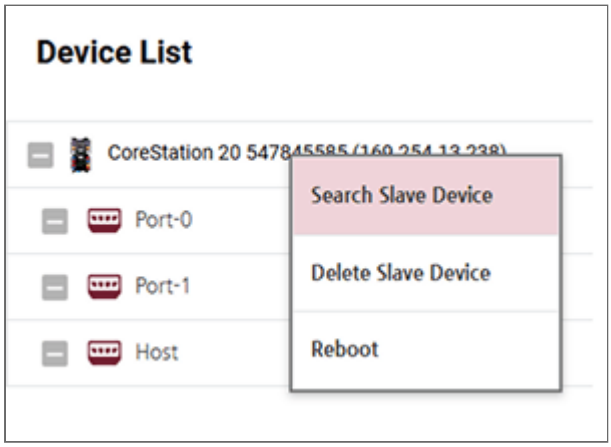
デバイス構成

デバイスの設定と管理について説明します。

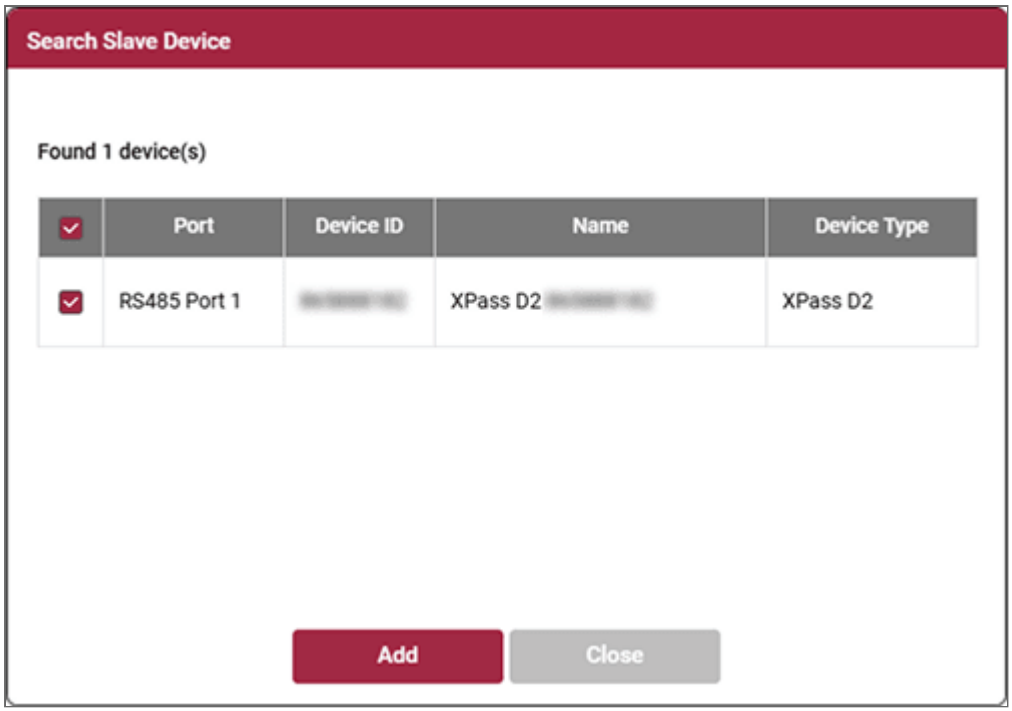
スレーブデバイスの検索と登録

CoreStation にスレーブデバイスを追加して、簡単に入退室管理システムのネットワークを拡張できます。 CoreStation（マスターデバイス）とスレーブデバイスは RS-485 で接続でき、デバイスだけでなく Secure I/O などの周辺装置も接続して使用できます。

1. **CONFIGURE** をクリックします。
2. Device List の CoreStation を右クリックし、**Search Slave Device** をクリックします。 CoreStation に接続されているスレーブデバイスのリストが表示されます。



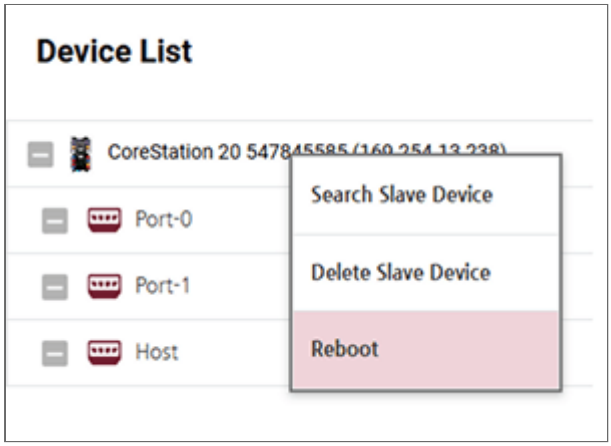
3. スレーブとして登録するデバイスを選択し、**Add** をクリックします。 また、個々のポートを選択してスレーブデバイスを追加することもできます。



デバイス再起動

デバイスを再起動できます。

1. **CONFIGURE** をクリックします。
2. Device List の CoreStation を右クリックし、**Reboot** をクリックします。

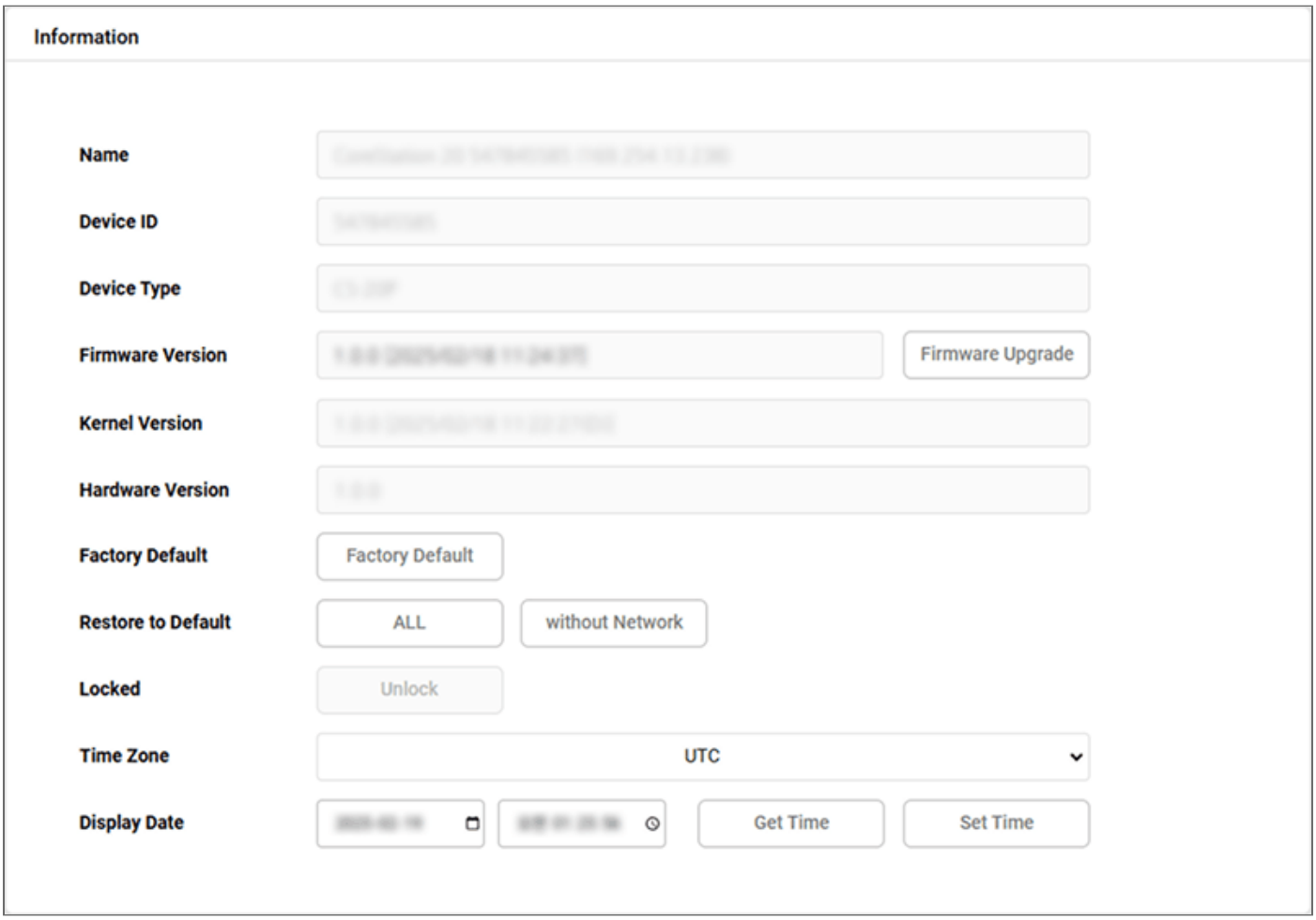


デバイス設定および情報の編集

CoreStation の詳細を設定できます。

1. **CONFIGURE** をクリックします。
2. 各項目を設定してください。
3. すべての設定を完了し、変更を保存するには **Apply** をクリックします。

情報



名称	機能説明
Name	デバイス名を確認できます。
Device ID	デバイス ID を確認できます。
Device Type	デバイスタイプを確認できます。
Firmware Version	**Firmware Upgrade** をクリックし、アップグレードするファームウェアファイルを選択すると、新しいバージョンのファームウェアをインストールできます。
Kernel Version	カーネルバージョンを確認できます。
Hardware Version	ハードウェアバージョンを確認できます。
Factory Default	デバイスに保存されているすべての情報とルート証明書を削除し、設定を初期化できます。
Restore to Default	デバイスの設定を初期化できます。 - **ALL**：すべての設定を初期化します。 - **without Network**：ネットワーク設定以外のすべてを初期化します。

名称	機能説明
Locked	動作条件によりデバイスがロックされている場合、**Unlock** ボタンを使用できます。
Time Zone	デバイスのタイムゾーンを設定できます。
Display Date	日付と時刻を手動で設定できます。 - **Get Time**：デバイスに設定されている時刻を取得するにはクリックします。 - **Set Time**：CoreStation Setup Manager に設定されている時刻をデバイスに適用するにはクリックします。

情報

Factory Default メニューは、デバイスにルート証明書が保存されている場合に利用できます。 出荷時設定を実行すると管理者アカウントが削除されます。

バックアップと復元

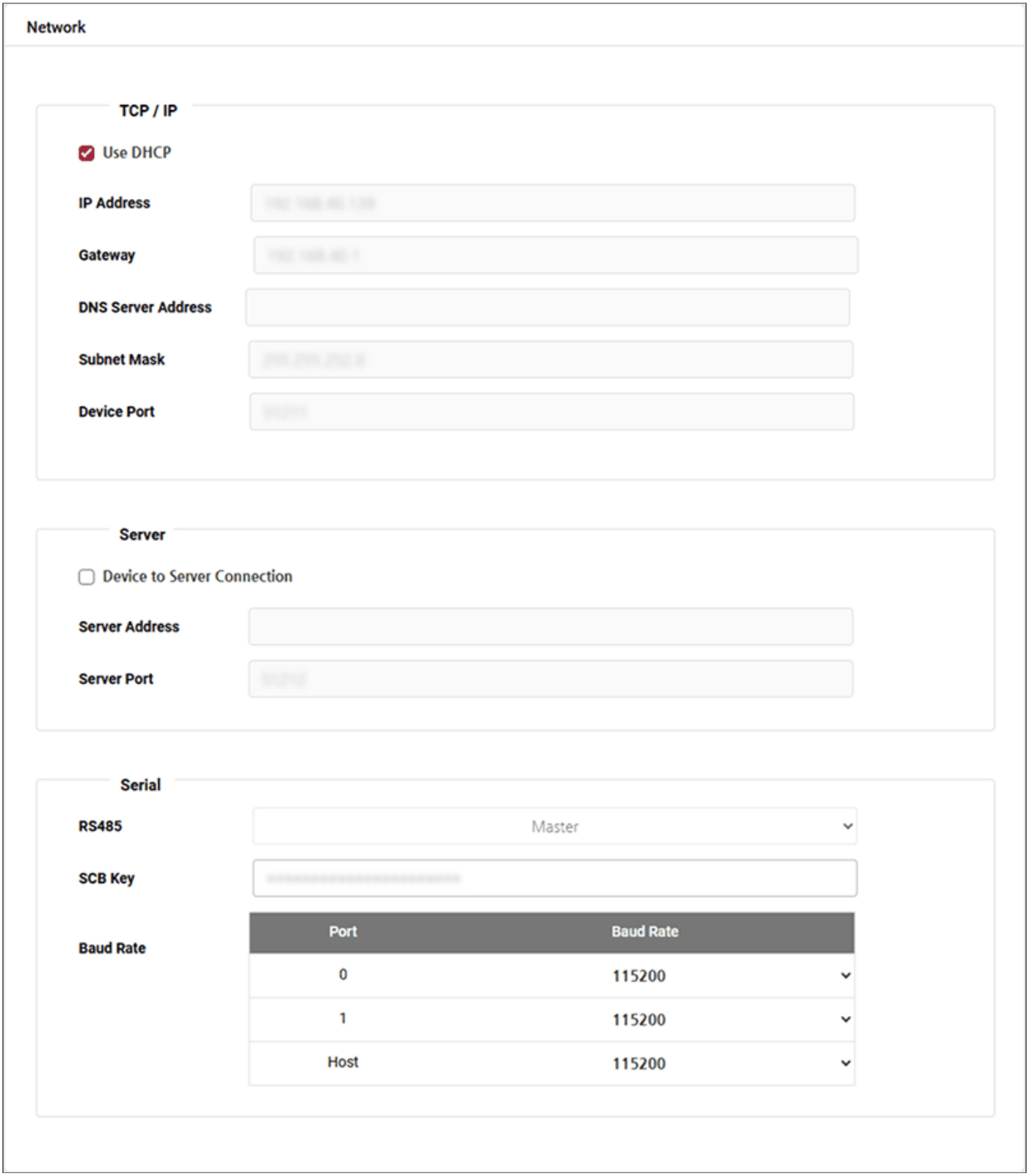


名称	機能説明
Device Backup	**Export Backup Data** をクリックすると、CoreStation の設定情報をファイルにバックアップします。 バックアップファイルは圧縮後に暗号化され、ブラウザーに設定されたダウンロード先に保存されます。
Restore Device	**Import Backup Data** をクリックすると、バックアップしたファイルを使用して CoreStation の設定情報を復元します。

情報

- バックアップファイルには、Device ID、Network（IP、DNS、Server、Gateway）、RS485 Baud Rate（チャネルごと）、SCB Key、ルート証明書が含まれます。 MAC アドレスはバックアップファイルに含まれません。デバイスを交換すると MAC アドレスが変わるため、DHCP 環境では IP アドレスが変更される場合があります。バックアップと復元では固定 IP の使用を推奨します。
- 復元は、バックアップファイルを作成したデバイスタイプと同じデバイスタイプ間でのみ可能です。
- CoreStation にスレーブデバイスが接続されている場合、SCB Key の復元はサポートしません。すでに SCB Key を使用してスレーブデバイスを接続した CoreStation は復元できません。

ネットワーク

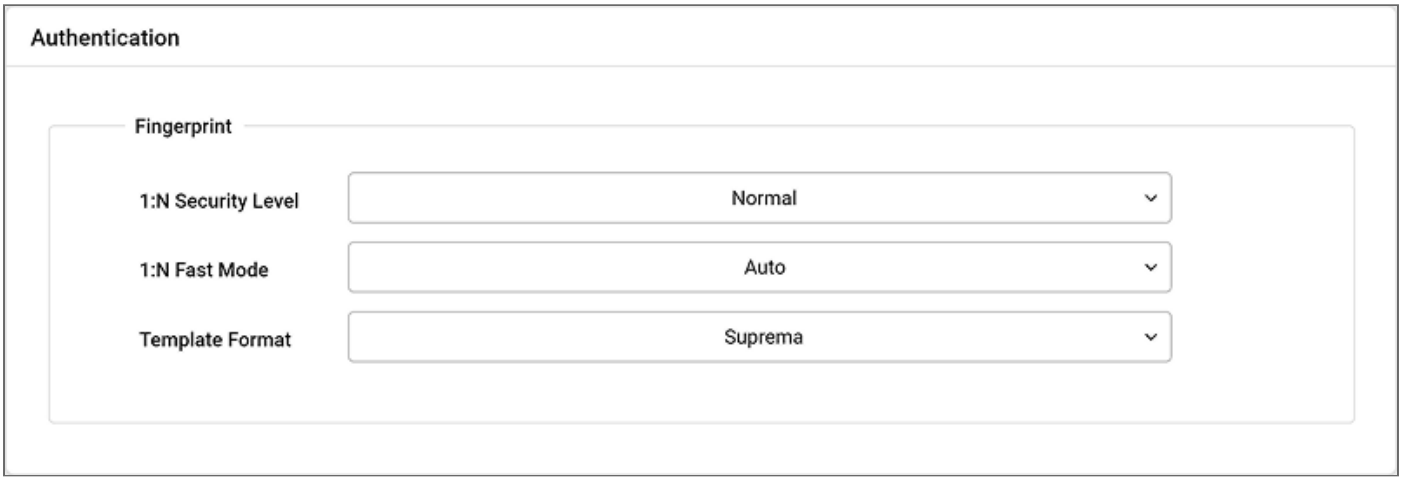


名称	機能説明
Use DHCP	デバイスを DHCP で動的 IP アドレスを使用するように設定するには選択します。 この項目を選択すると固定 IP アドレスは設定できません。

名称	機能説明
IP Address	デバイスの IP アドレスを確認できます。
Gateway	デバイスのゲートウェイを確認できます。
DNS Server Address	デバイスの DNS サーバーアドレスを確認できます。
Subnet Mask	デバイスのサブネットマスクを確認できます。
Device Port	デバイスが使用するポートを入力します。
Device to Server Connection	このオプションを選択すると、BioStar X サーバー情報を入力してデバイスからサーバーへ接続できます。
Server Address	BioStar X サーバーの IP アドレスまたはドメインアドレスを入力します。
Server Port	BioStar X サーバーのポートを入力します。
RS485	マスターモードのみ使用できます。
SCB Key	CoreStation に適用するセキュリティキーを直接入力できます。
Baud Rate	各 RS-485 ポートのボーレートを設定できます。

情報
CoreStation にスレーブデバイスが接続されている場合、SCB Key を設定できません。

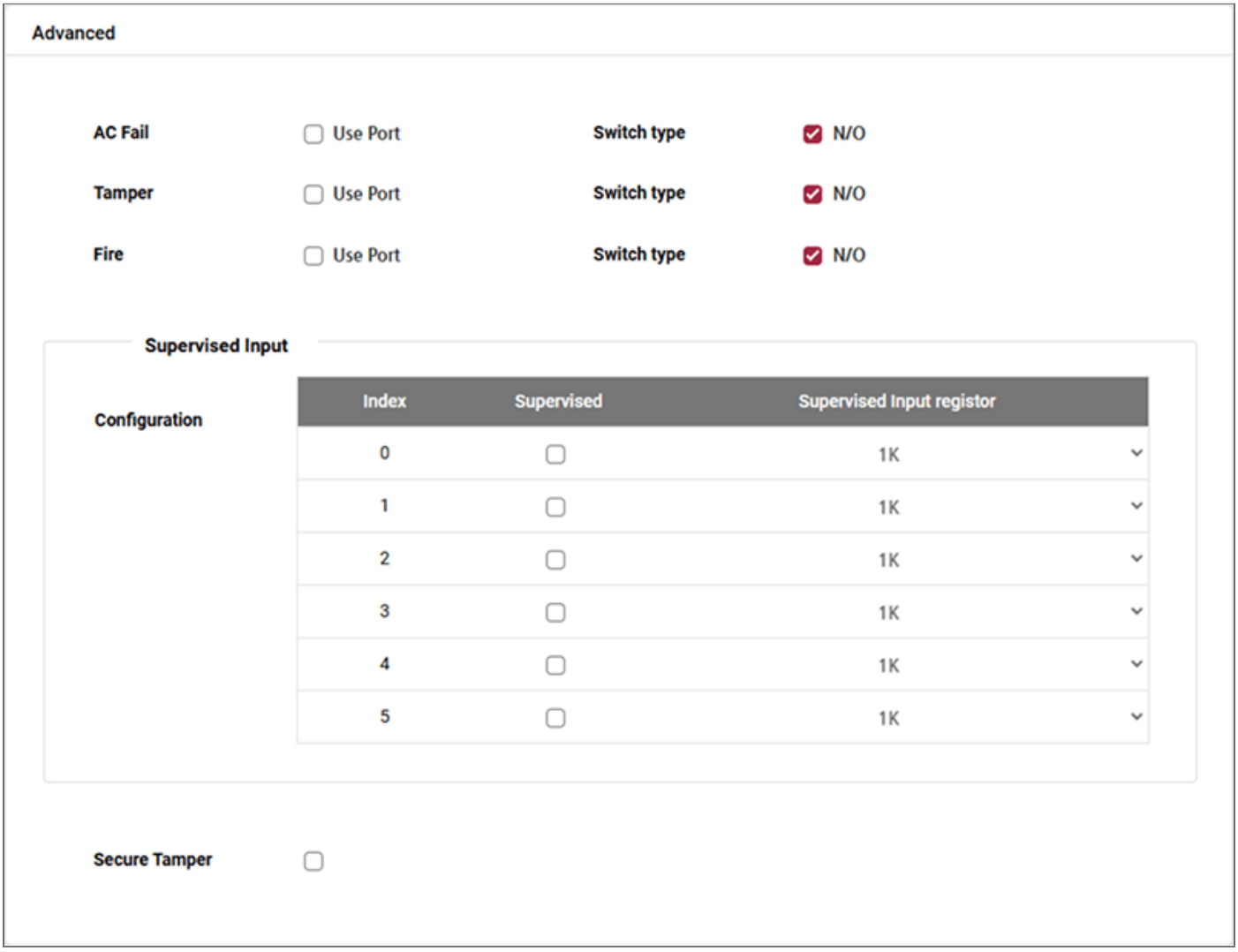
認証



名称	機能説明
1:N Security Level	指紋認証時に使用するセキュリティレベルを設定できます。 セキュリティレベルが高いほど本人拒否率（FRR）は上がりますが、他人受入率（FAR）は下がります。
1:N Fast Mode	指紋認証の速度を設定できます。 **Auto** を選択すると、デバイスに登録されている指紋テンプレートの総数に応じて認証速度が自動的に設定されます。
Template Format	設定されている指紋テンプレート形式を確認できます。

情報
生体認証はCoreStationでのみサポートされます。

高度な設定



名称	機能説明
AC Fail	電源入力信号を監視するAUXポートを設定できます。

名称	機能説明
Tamper	タンパーが接続されたAUXポートを設定できます。
Fire	火災検知信号を監視するAUXポートを設定できます。
Configuration	CoreStation のスーパーバイズド入力ポートを Input ポートとして使用するように設定でき、さらにスーパーバイズド入力で使用する抵抗値を設定できます。 抵抗値は 1 kΩ、2.2 kΩ、4.7 kΩ、10 kΩ を設定できます。
Secure Tamper	デバイスでタンパーイベントが発生した場合、デバイスに保存されているすべてのユーザー情報、すべてのログ、およびセキュリティキーを削除するように設定できます。

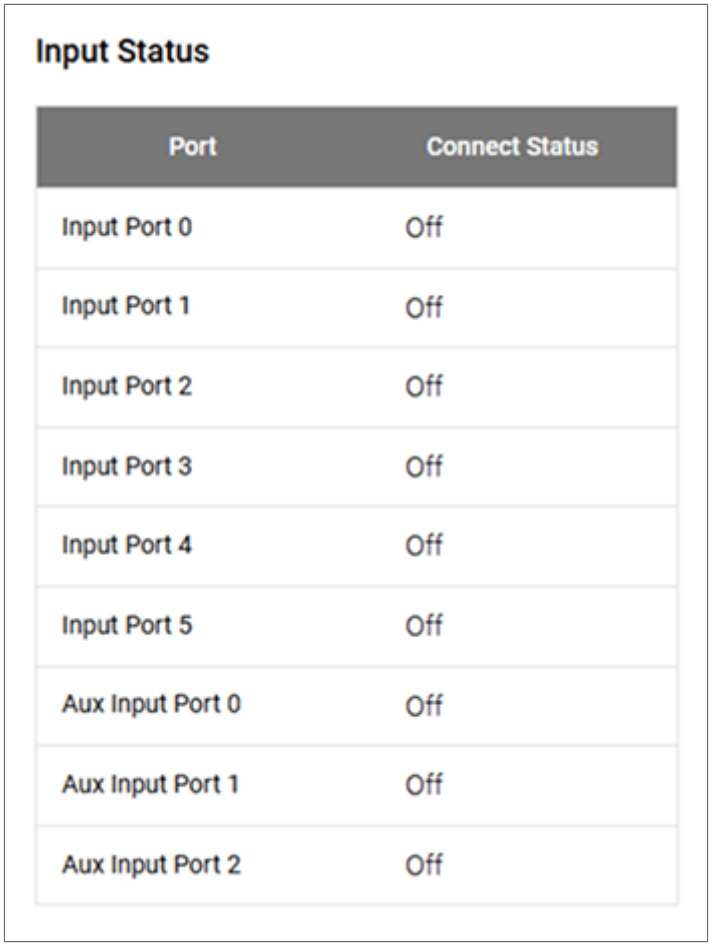
モニタリング

配線を完了した後、CoreStationの入力および出力状態をリアルタイムで確認できます。 さらに、接続されたWiegandリーダーでスキャンしたカードIDも確認できます。

> **情報**
> CoreStationモデルによって接続可能なポート数は異なる場合があります。

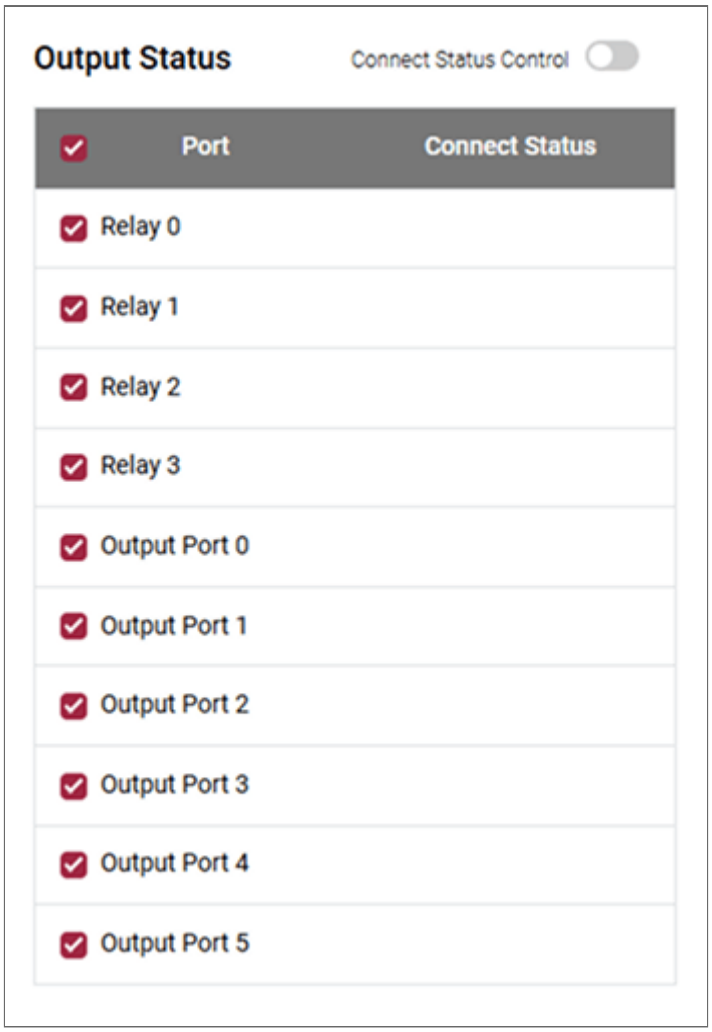
入力ポートの状態

入力およびAux入力ポートの接続状態が表示されます。 配線を完了した後、現場ですぐに入力ポートの接続状態を確認できます。



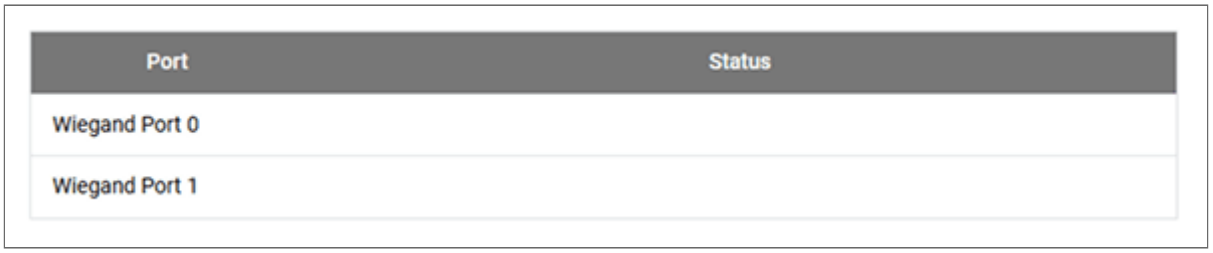
出力ポートの状態

リレーおよび出力ポートの接続状態が表示されます。 対象を選択し、スイッチをクリックしてリレーおよび出力ポートを制御することもできます。



Wiegandポートの状態

接続されたWiegandリーダーでカードをスキャンすると、そのカードIDが**Status**列に表示されます。



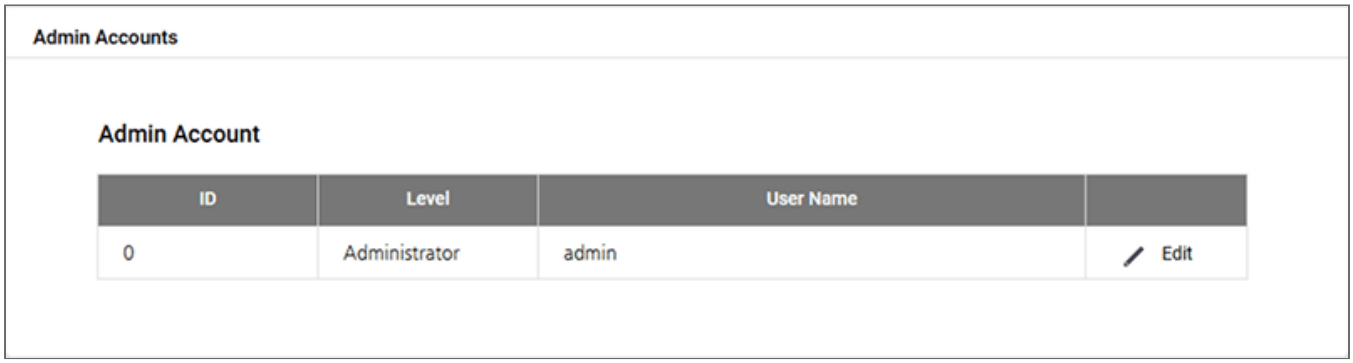
設定

管理者アカウントと Web サーバーのネットワーク設定方法を案内します。

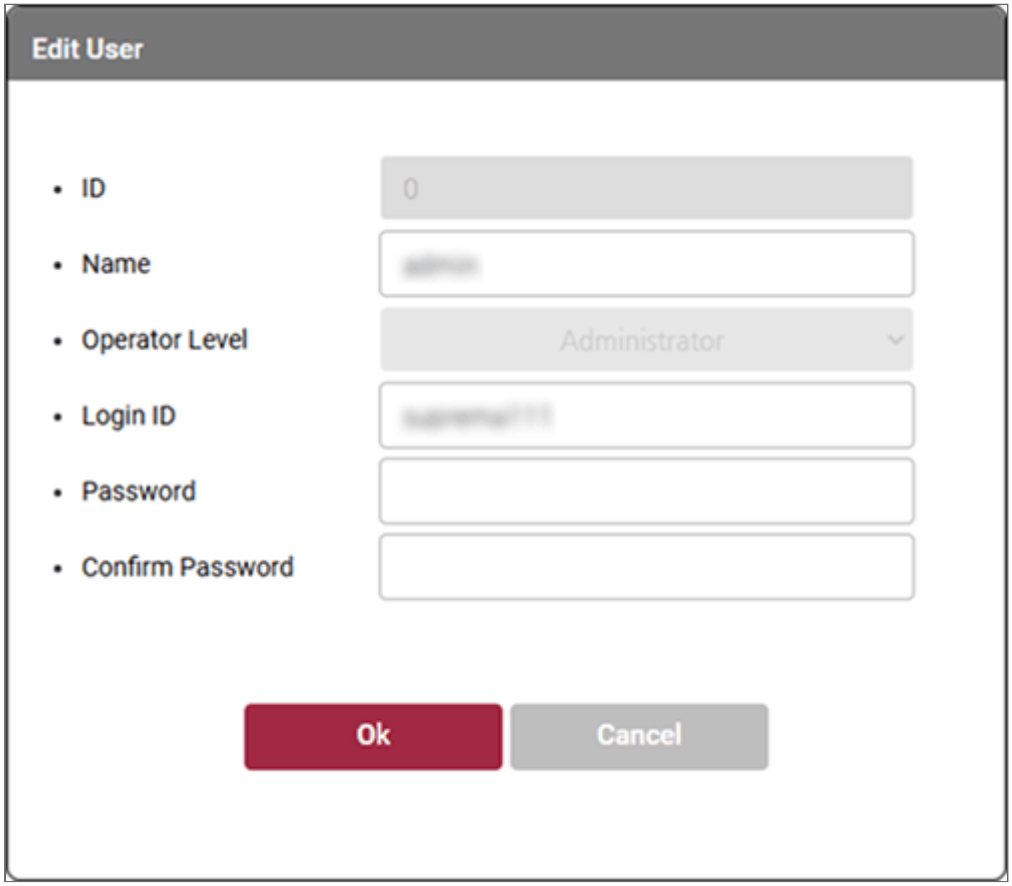
管理者アカウントを編集する

CoreStation Setup Manager の管理者アカウントを編集します。

1. **SETTINGS** をクリックします。
2. **Admin Account** → **Edit** をクリックします。



3. デバイスの初期設定 を参照して各項目を編集したあと、**OK** をクリックします。

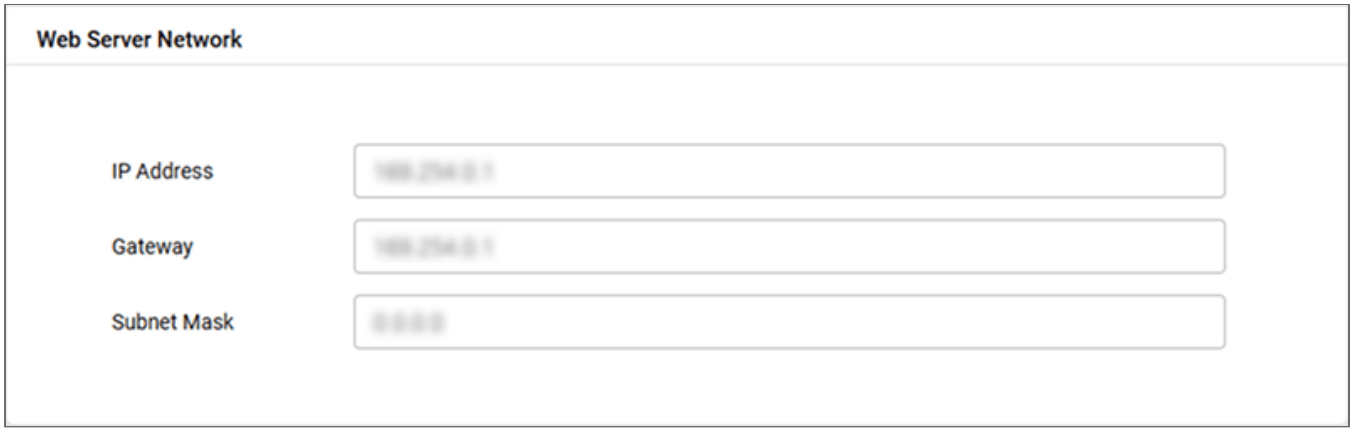


4. **Apply** をクリックして設定を保存します。

Web サーバーネットワーク

CoreStation Setup Manager のネットワーク情報を変更できます。

1. **SETTINGS** をクリックします。
2. 各項目を設定してください。



名称	機能説明
IP Address	CoreStation Setup Manager の IP アドレスを編集します。 - 固定 IP のみ使用できます。 DHCP はサポートされていません。
Gateway	CoreStation Setup Manager のゲートウェイを編集します。
Subnet Mask	CoreStation Setup Manager のサブネットマスクを編集します。

3. **Apply** をクリックして設定を保存します。 デバイスが再起動されます。

付録

製品に含まれる法的通知事項を掲載しています。

免責事項

- このウェブサイトは、Suprema製品に関する情報を提供します。
- このウェブサイトは、Supremaの製品使用および販売契約に含まれるSuprema製品にのみ使用できます。 このウェブサイトは、明示的、黙示的、禁反言の原則、またはその他いかなる方法によっても、知的財産権に対するライセンスを付与しません。
- お客様とSupremaとの契約に明示されている場合を除き、Supremaは一切の責任を負わず、特定目的への適合性、商品性、非侵害に関するあらゆる明示的または黙示的保証を否認します。
- 保証が無効となるのは、次の場合です。Suprema製品が 1) 誤って設置される、またはハードウェアのシリアル番号、保証情報、品質保証ステッカーが変更または除去された場合、2) Supremaが許可した方法以外で使用された場合、3) SupremaまたはSupremaが承認した以外の者によって変更、改造、修理された場合、4) 不適切な環境で運用または保守された場合。
- Suprema製品は、製品の故障が負傷や死亡事故につながる可能性のある医療、救命、生命維持などの用途向けに設計されていません。 お客様がこのような用途でSuprema製品を購入または使用する場合、これに起因する負傷または死亡によって発生するすべての請求、費用、損失、支出および合理的な弁護士費用から、SupremaおよびそのメンバーⅠ、子会社、関連会社、供給業者を免責するものとします。 製品の設計または製造にSupremaの過失があると主張される場合でも同様です。
- Supremaは、信頼性、機能または設計を向上させるため、予告なくいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。
- 個人情報は、製品使用時に認証メッセージおよびその他の関連情報の形でSuprema製品に保存されることがあります。 Supremaは、Supremaが直接制御できない、または関連契約に明示されたSuprema製品に保存される個人情報を含むいかなる情報についても責任を負いません。 個人情報を含む保存された情報を使用する場合、製品ユーザーは関連法（例：GDPR）を遵守し、適切に取り扱いおよび処理する責任があります。
- お客様は、いかなる機能の欠如や特性、または"reserved"や"undefined"と表示された説明に依存してはなりません。 Supremaは後日これを定義することができ、後日行われた変更が現行内容と矛盾した場合でも、Supremaは責任を負いません。
- 本サイトに明示的に記載されている場合を除き、Supremaは法律で許容される最大範囲で"現状のまま"販売されます。
- 製品を注文する前に、最寄りのSuprema営業所または代理店に問い合わせ、最新の仕様を確認してください。

著作権に関するお知らせ

本ウェブサイトの著作権は Suprema に帰属します。 その他の製品名、商標、登録商標に関する権利は、それぞれの所有者である個人または団体に帰属します。

Suprema Inc.

17F Parkview Tower, 248, Jeongjail-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13554, Rep. of KOREA

電話: +82 31 783 4502 | Fax: +82 31 783 4503 | お問い合わせ: sales_sys@supremainc.com

Supremaのグローバル支社の詳細については、
QRコードをスキャンして以下のWebページにアクセスしてください。
https://www.supremainc.com/en/about/contact-us.asp

© 2026 Suprema, Inc. 本書に記載されている Suprema および Suprema 社の製品名および番号は、Suprema, Inc. の登録商標です。Suprema 社以外のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。製品の外観、ビルドステータスおよび/または仕様は、予告なく変更されることがあります。